

山陽小野田市プレミアム付商品券の結果について

(1) 目的

プレミアム付商品券の発行を支援し、地元消費の拡大、地元経済の活性化及び市内の小売業・サービス業等の活性化を図る。

(2) 事業実施主体、助成・実施方法

<実施主体> 山陽小野田市プレミアム付商品券事業推進協議会

<実施方法> 推進協議会がプレミアム付商品券を発行し、市は協議会に対して補助金の交付を行う。

<補助金実績> 83,465,415 円 (プレミアム分 : 69,869,000 円)

(3) 発行総額等

<発行総額> 420,000,000 円 (500 円券×840,000 枚)

<プレミアム率> 20% (12,000 円分の商品券を 10,000 円で販売)

<利用期間> 7 月 16 日～1 月 15 日

<発行実績> 420,000,000 円

<換金実績> 419,214,500 円

<利用率> 99.81%

(4) 販売方法等

<対象範囲> 市民

<購入限度額> 1 次販売 : 12,000 円 (1 冊/人)

2 次販売 : 60,000 円 (5 冊/人)

<発売日> 1 次販売 : 6 月 1 日～6 月 20 日 (消印有効)

2 次販売 : 8 月 27 日、8 月 30 日

<販売方法> 1 次販売 : 郵送による事前申請

2 次販売 : 先着

<販売数> 1 次販売 : 10,824 セット (通知 : 11,102 セット)

2 次販売 : 24,176 セット

(5) 参加店舗について

・飲食業 : 43 店舗

・小売業 : 173 店舗

・サービス業 : 48 店舗

・その他 : 22 店舗

(6) 消費喚起効果額

<アンケートから類推される消費喚起効果額> 約 125,000 千円

山陽小野田市プレミアム付商品券利用実態に関するアンケート結果

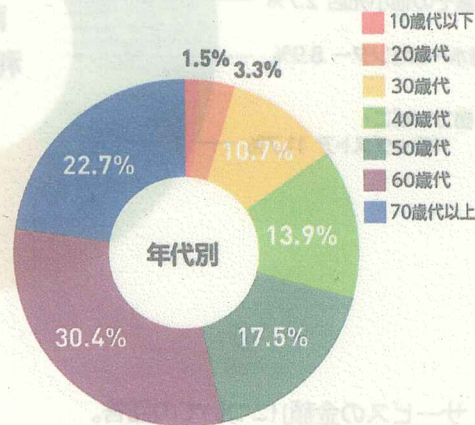
山陽小野田市内では、商品券4億2千万円分を発行し、換金率99.8%で、4億1,921万円が利用されました。

1 アンケート回収状況 【配布：7,211件、回答：3,430件、有効回答：2,737件、有効回答率：38.0%】

2 アンケート回答者について

(1) 年代

	人数	割合(%)
10歳代以下	41	1.5%
20歳代	90	3.3%
30歳代	294	10.7%
40歳代	380	13.9%
50歳代	479	17.5%
60歳代	831	30.4%
70歳代以上	622	22.7%
合計	2,737	100.0%

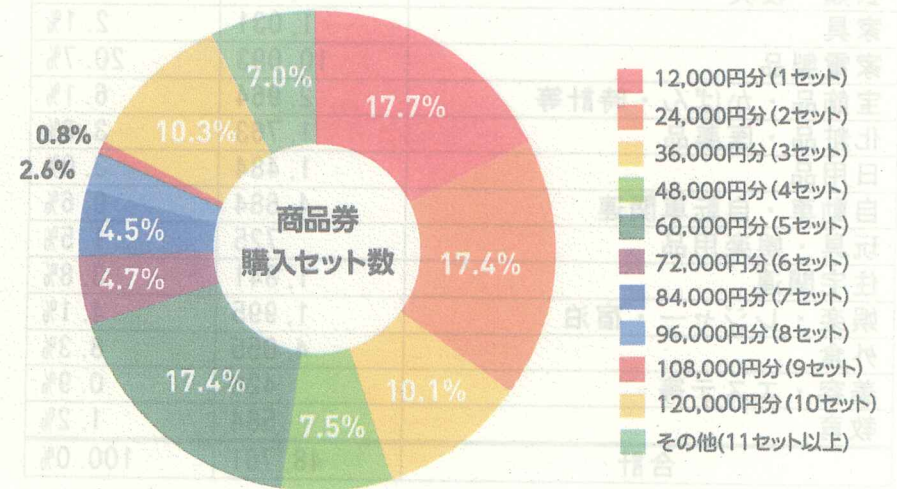
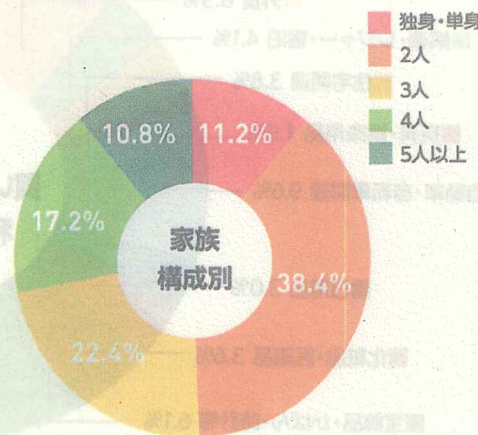


(3) 購入セット数（世帯の合計購入数）

	世帯数	割合(%)
12,000円分(1セット)	485	17.7%
24,000円分(2セット)	475	17.4%
36,000円分(3セット)	276	10.1%
48,000円分(4セット)	205	7.5%
60,000円分(5セット)	475	17.4%
72,000円分(6セット)	129	4.7%
84,000円分(7セット)	122	4.5%
96,000円分(8セット)	71	2.6%
108,000円分(9セット)	26	0.8%
120,000円分(10セット)	281	10.3%
その他(11セット以上)	192	7.0%
合計	2,737	100.0%

(2) 家族構成

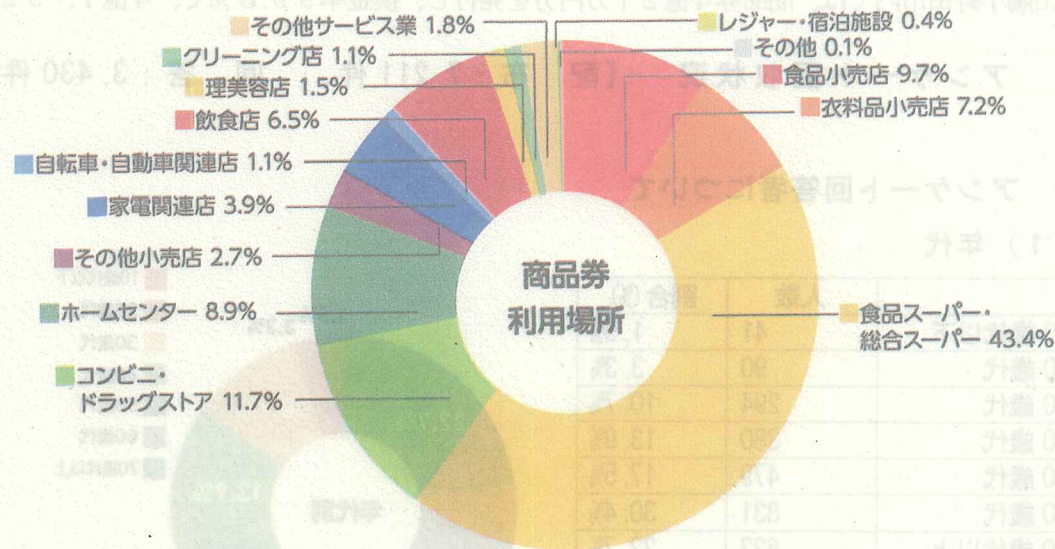
	人数	割合(%)
独身・単身	306	11.2%
2人	1,050	38.4%
3人	613	22.4%
4人	471	17.2%
5人以上	297	10.8%
合計	2,737	100.0%



3 商品券の利用について

(1) 商品券を利用したお店について (複数回答)

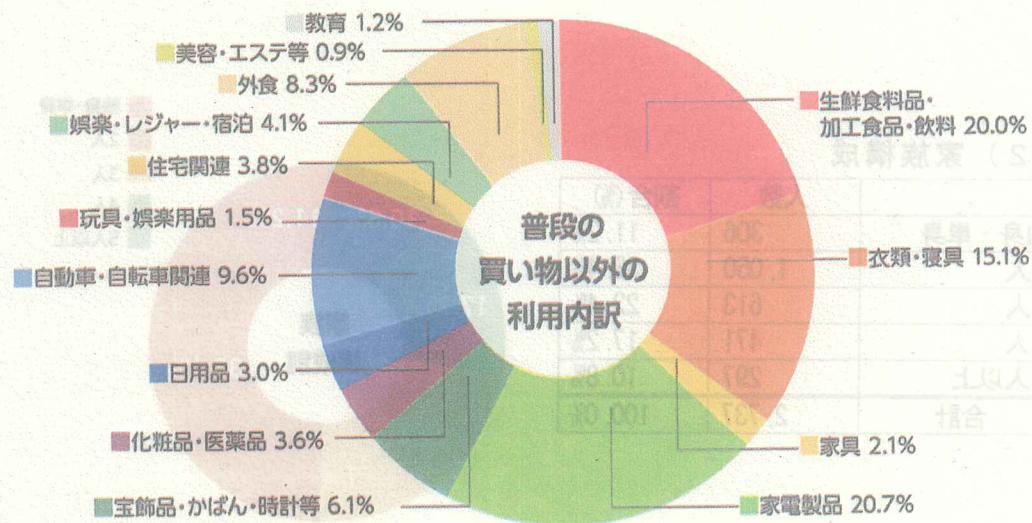
	人数	割合 (%)
食品小売店	549	9.7%
衣料品小売店	404	7.2%
食品スーパー・総合スーパー	2,449	43.4%
コンビニ・ドラッグストア	662	11.7%
ホームセンター	501	8.9%
その他小売店	151	2.7%
家電関連店	218	3.9%
自転車・自動車関連店	63	1.1%
飲食店	367	6.5%
理美容店	85	1.5%
クリーニング店	64	1.1%
その他サービス業	104	1.8%
レジャー・宿泊施設	24	0.4%
その他	2	0.1%
合計	5,643	100.0%



(2) 商品券の購入がきっかけとなった商品・サービスの購入について

※商品券の購入をきっかけとして、「普段の買い物以外に商品券を利用した商品・サービスの金額」についての回答。

	金額 (千円)	割合 (%)
生鮮食料品・加工食品・飲料	9,731	20.0%
衣類・寝具	7,385	15.1%
家具	1,031	2.1%
家電製品	10,093	20.7%
宝飾品・かばん・時計等	2,964	6.1%
化粧品・医薬品	1,763	3.6%
日用品	1,484	3.0%
自動車・自転車関連	4,684	9.6%
玩具・娯楽用品	725	1.5%
住宅関連	1,841	3.8%
娯楽・レジャー・宿泊	1,995	4.1%
外食	4,055	8.3%
美容・エステ等	426	0.9%
教育	584	1.2%
合計	48,761	100.0%



今回のプレミアム付商品券の発行は、国の交付金を活用し、地域の消費拡大、経済の活性化及び小売・サービス業等の活性化を図るものとして実施しました。

山陽小野田市プレミアム付商品券 事業推進協議会 様

要諦の査閲.1

目的の査閲.1-1

商(下以)袋品商付んでシマノ市山陽小野田山1るす3(日)を証費商のき出
開イ一でて(下以)査購一やてする十開シ謝実用向の(く)ら(巻品
の果候証費漸る十枚二高孫加加「謝所本証実用研のち」り(く)ら(巻品

山陽小野田市プレミアム付商品券

利用実態に関する

アンケート調査報告書

～消費喚起効果測定～

(金)日01月1年28平
券 737.5
率 0.88
円 002,119,911

果諦の査閲.2

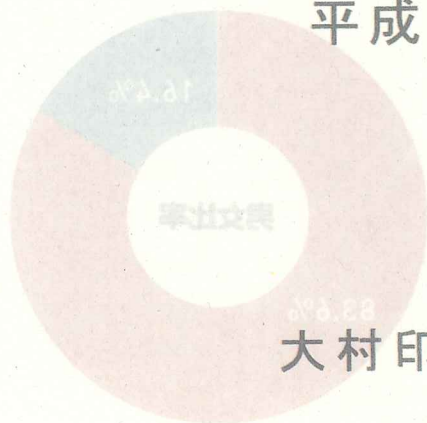
アノコニ香答回.1-2

取封

すまノコ大証を購83,685,8枚封袋、お取封

(#)合端	数人	
23.01	420	封展
78.88	2,287	封文
100.00	2,737	場合

封文 ■
封展 ■



平成 28 年 3 月

大村印刷株式会社

1.調査の概要

1-1.調査の目的

地方の消費喚起を目的とする「山陽小野田市プレミアム付商品券（以下、「商品券」という）」の利用実態に関するアンケート調査（以下、「アンケート調査」という）より、その利用実態を把握し、地域経済に対する消費喚起効果の推計を行うことを目的とします。

1-2.調査の概要

- ・調査対象 商品券利用者
- ・調査実施期間 平成 27 年 7 月 16 日（木）～平成 28 年 1 月 15 日（金）
- ・調査実施方法 アンケート記入方式
- ・配布 7,211 件
- ・回答 3,430 件
- ・有効回答 2,737 件
- ・有効回答率 38.0%
- ※参考 商品券総額 ... 419,214,500 円

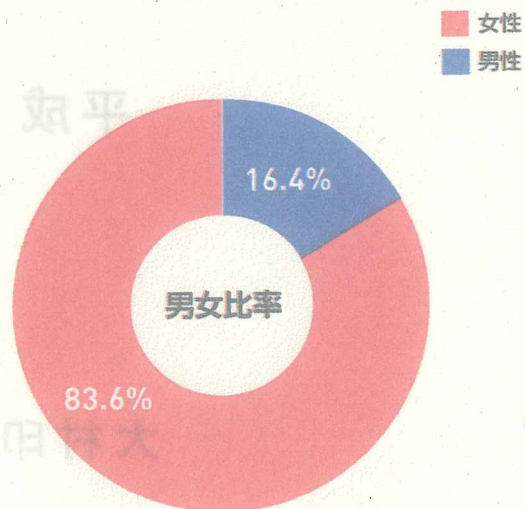
2.調査の結果

2-1.回答者について

性別

性別では、女性が 83.6%と 8 割を越えています。

	人数	割合(%)
男性	450	16.4%
女性	2,287	83.6%
合計	2,737	100.0%



年代別

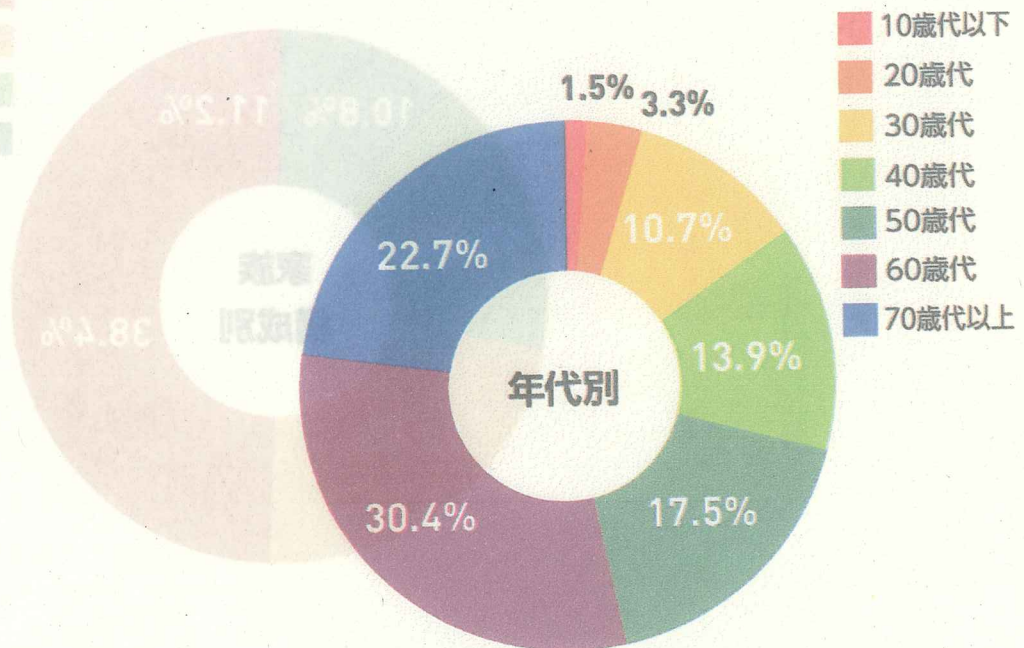
限外調査

年代別では、60歳代が30.4%、70歳代以上が22.7%で、60歳代以上の合計で53.1%と5割を越えています。

	人数	割合(%)
10歳代以下	41	1.5%
20歳代	90	3.3%
30歳代	294	10.7%
40歳代	380	13.9%
50歳代	479	17.5%
60歳代	831	30.4%
70歳代以上	622	22.7%
合計	2,737	100.0%

(%)合計	人数	年代別
1.5%	41	10歳代以下
3.3%	90	20歳代
10.7%	294	30歳代
13.9%	380	40歳代
17.5%	479	50歳代
30.4%	831	60歳代
22.7%	622	70歳代以上
100.0%	2,737	合計

■ 10歳代以下
■ 20歳代
■ 30歳代
■ 40歳代
■ 50歳代
■ 60歳代
■ 70歳代以上



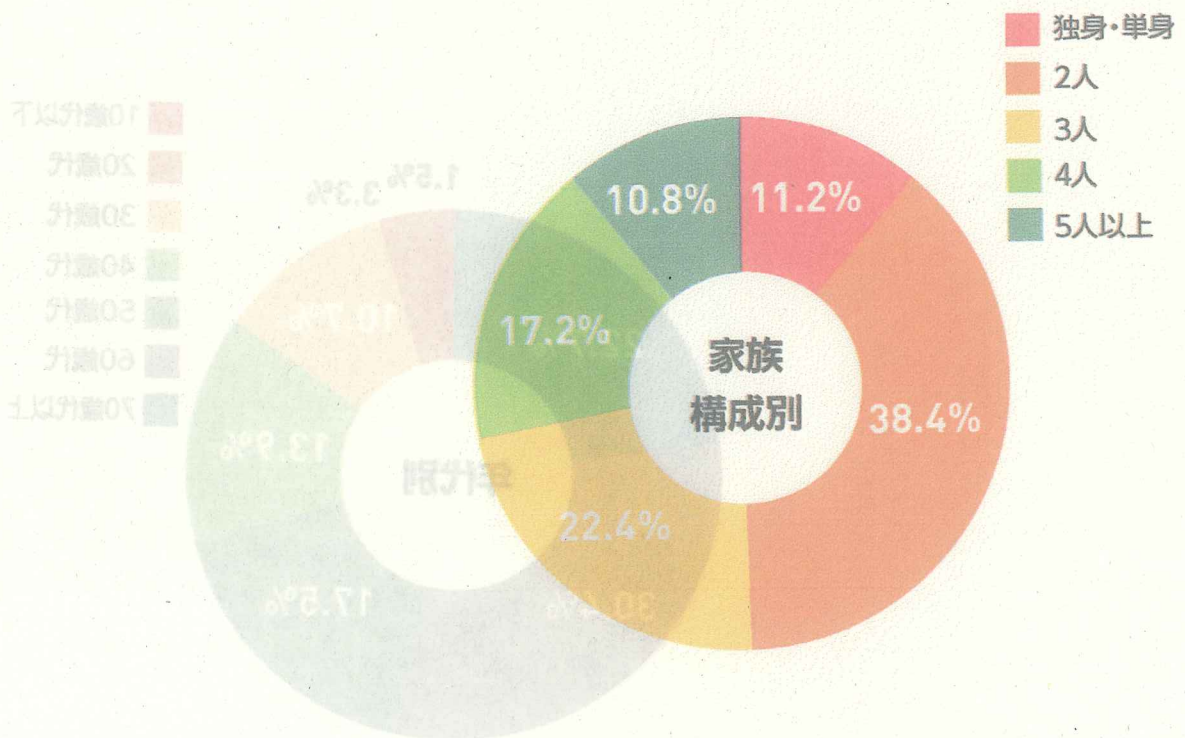
家族構成別

限升年

家族構成別では、2人が38.4%と最も多くなっています。

	人数	割合(%)
独身・単身	306	11.2%
2人	1,050	38.4%
3人	613	22.4%
4人	471	17.2%
5人以上	297	10.8%
合計	2,737	100.0%

(2)合計	人数	割合(%)
独身・単身	306	11.2%
2人	1,050	38.4%
3人	613	22.4%
4人	471	17.2%
5人以上	297	10.8%
合計	2,737	100.0%



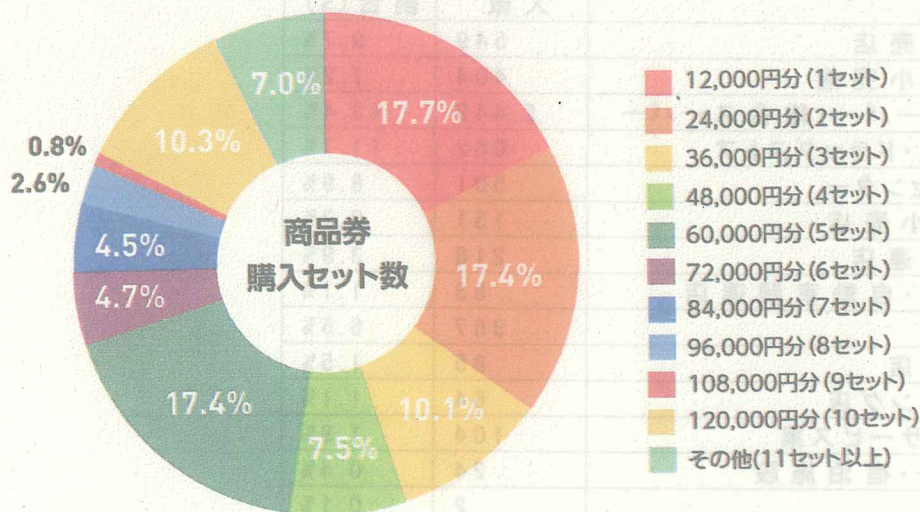
2-2.商品券の利用について

商品券購入セット数

問 1.商品券を何円分購入されましたか。

購入セット数は、1 セット(12,000 円分)が 17.7%と最も多く、次に多いのが 2 セット(24,000 円分)と 5 セット(60,000 円分)の 17.4%となっています。

	人数	割合(%)
12,000 円分 (1 セット)	485	17.7%
24,000 円分 (2 セット)	475	17.4%
36,000 円分 (3 セット)	276	10.1%
48,000 円分 (4 セット)	205	7.5%
60,000 円分 (5 セット)	475	17.4%
72,000 円分 (6 セット)	129	4.7%
84,000 円分 (7 セット)	122	4.5%
96,000 円分 (8 セット)	71	2.6%
108,000 円分 (9 セット)	26	0.8%
120,000 円分 (10 セット)	281	10.3%
その他(11 セット以上)	192	7.0%
合計	2,737	100.0%



商品券冊数

商品券の平均購入セット数、4.98セット
(13,628冊/2,737人)

セット数	冊数合計
1	485
2	950
3	828
4	820
5	2,375
6	774
7	854
8	568
9	234
10	2,810
その他	2,930
合計	13,628

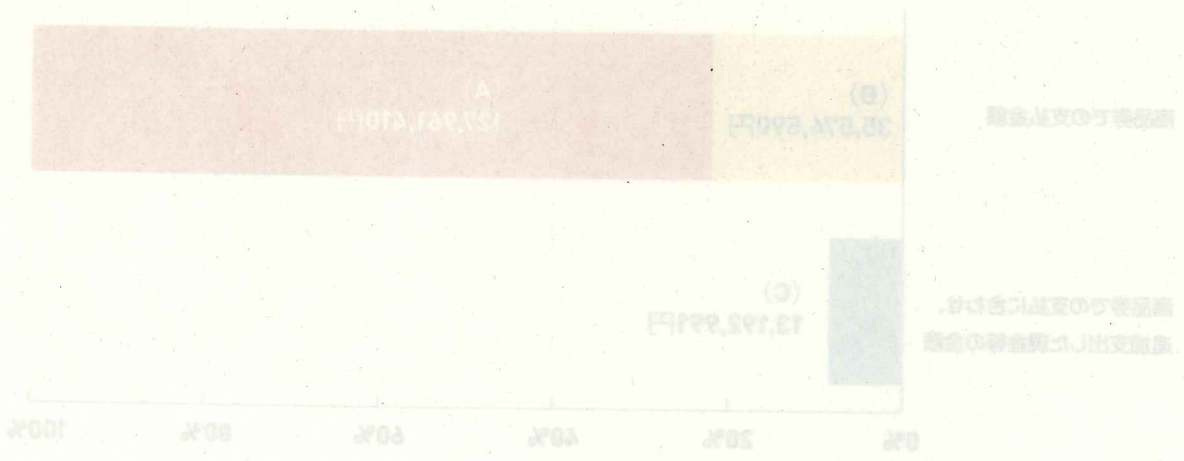
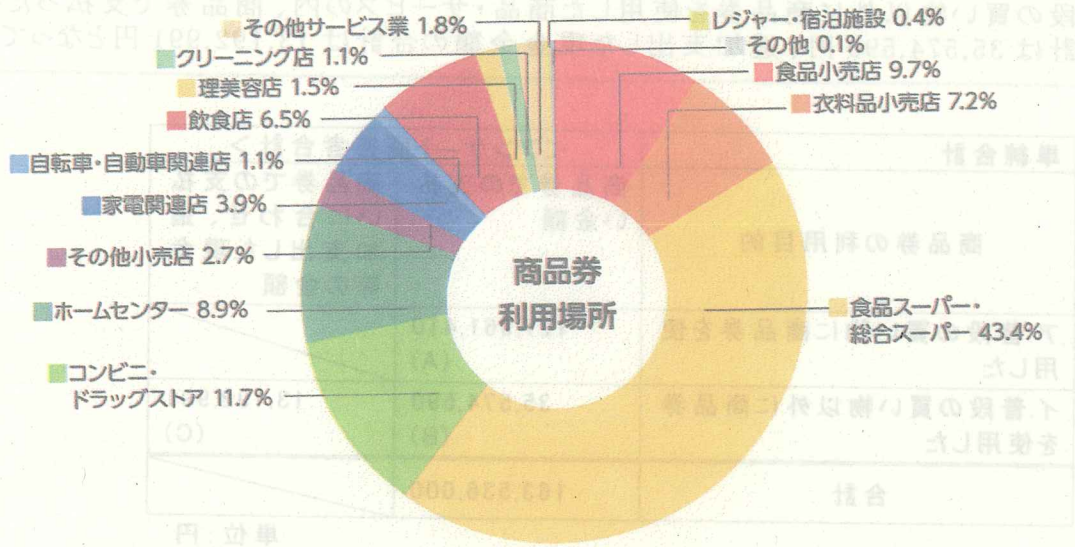
商品券の利用場所

問 2.商品券を主に利用したのは、どのような業種のお店ですか。(複数回答)

商品券の利用店舗は、食品スーパー・総合スーパーが 43.4%と最も多く、次に、コンビニ・ドラッグストアが 11.7%と多くなっています。

	人数	割合(%)
食品小売店	549	9.7%
衣料品小売店	404	7.2%
食品スーパー・総合スーパー	2,449	43.4%
コンビニ・ドラッグストア	662	11.7%
ホームセンター	501	8.9%
その他小売店	151	2.7%
家電関連店	218	3.9%
自転車・自動車関連店	63	1.1%
飲食店	367	6.5%
理美容店	85	1.5%
クリーニング店	64	1.1%
その他サービス業	104	1.8%
レジャー・宿泊施設	24	0.4%
その他	2	0.1%
合計	5,643	100.0%

商品券利用場所の割合



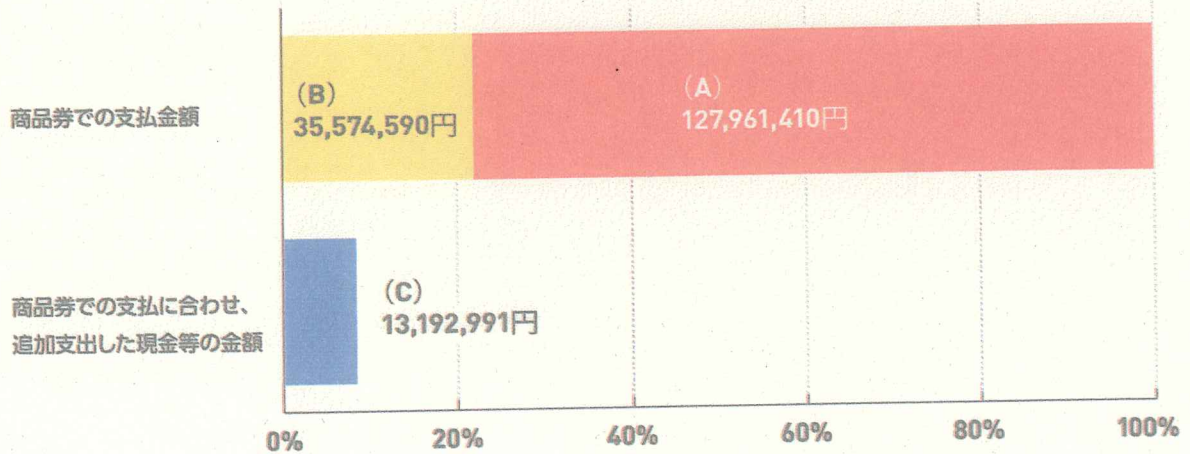
商品券利用状況

問 3.商品券を使ったお店では、実際にどのような目的で商品・サービスを購入されましたか。

普段の買い物に商品券を使用した金額の合計は、127,961,410 円となっています。普段の買い物以外に商品券を使用した商品・サービスの内、商品券で支払った金額の合計は 35,574,590 円、追加支出した現金金額の合計は 13,192,991 円となっています。

単純合計	＜アンケート回答者合計＞	
	商品券での支払い金額	商品券での支払いに合わせ、追加支出した現金等の金額
ア.普段の買い物に商品券を使用した	127,961,410 (A)	
イ.普段の買い物以外に商品券を使用した	35,574,590 (B)	13,192,991 (C)
合計	163,536,000	

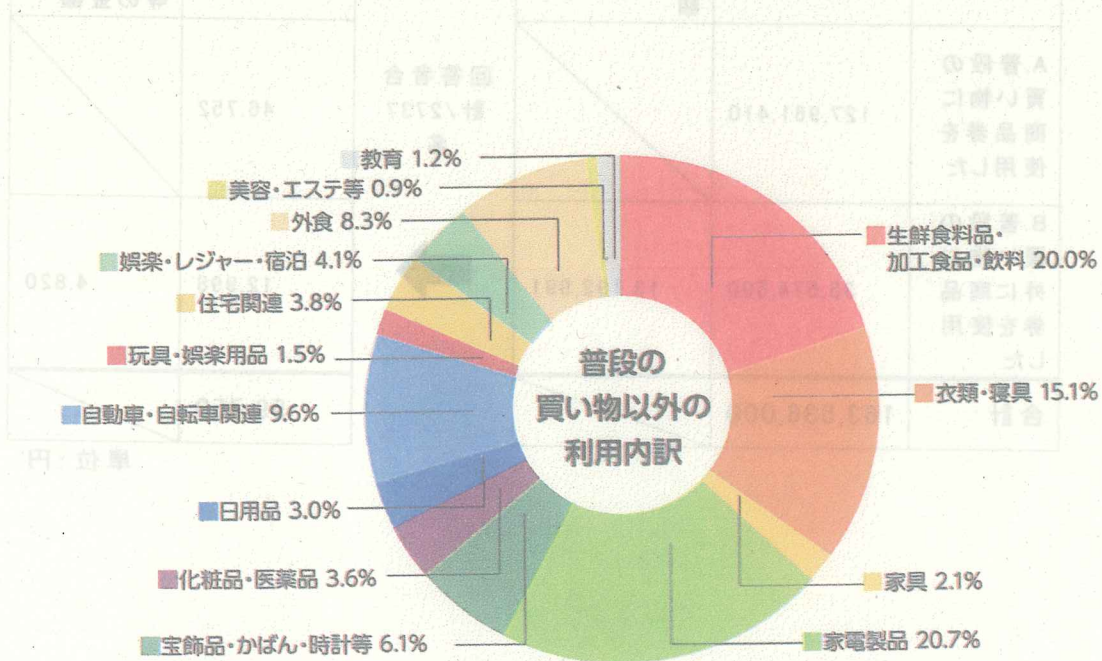
単位：円



商品券の購入がきっかけとなった商品・サービスの分類別購入割合
 問 4.問 3 の「イ. 普段の買い物以外に商品券を使用した商品・サービスの金額
 ((B)及び(C))」について、該当する項目へ分類し、内訳金額をそれぞれご記入く
 ださい。

普段の買い物以外に商品券を使用した商品・サービスの利用内訳をみると、家電製
 品が 20.7%と最も多く、続いて生鮮食料品・加工食品・飲料 20.0%、衣類・寝具 15.1%の
 順になっています。

	金額(円)	割合(%)
生鮮食料品・加工食品・飲料	9,731,930	20.0%
衣類・寝具	7,385,321	15.1%
家具	1,031,120	2.1%
家電製品	10,093,756	20.7%
宝飾品・かばん・時計等	2,964,258	6.1%
化粧品・医薬品	1,763,827	3.6%
日用品	1,484,296	3.0%
自動車・自転車関連	4,684,640	9.6%
玩具・娯楽用品	725,304	1.5%
住宅関連	1,841,365	3.8%
娯楽・レジャー・宿泊	1,995,556	4.1%
外食	4,055,576	8.3%
美容・エステ等	426,018	0.9%
教育	584,614	1.2%
合計	48,767,581	100.0%



3.消費喚起効果測定

3-1.消費喚起効果算出

アンケート調査により、「商品券の利用金額のうち、商品券の利用により普段の買い物より多め・高めに消費した金額（または商品券がなければ消費しなかったであろう金額）の平均が17,818円でした。

これを回答者一人当たりの平均購入セット数4.98セットで除し、商品券1セットあたり3,578円の消費喚起効果があったと推計しました。これに総発行セット数34,935セット（419,214,500円÷12,000円）を乗じ、事業全体の消費喚起効果は、1億2499万7430円となります。

消費喚起効果は、約1億2500万円と推計されます。

3-2.消費喚起効果算出のための参考値

① アンケート回答者数	2,737
② アンケート回答者の商品券の総購入セット数	13,628
③ アンケート回答者の商品券の平均購入セット数(②/①)	4.98
④ 購入者全体のアンケート回答率(①/7,211)	38.0%

アンケート回答者合計

1人当たり
※効果算出で使用

商品券の使用目的	商品券での支払い金額	商品券での支払に合わせ、追加支出した現金等の金額	商品券での支払い金額	商品券での支払に合わせ、追加支出した現金等の金額
A. 普段の買い物に商品券を使用した	127,961,410		46,752	
B. 普段の買い物以外に商品券を使用した	35,574,590	13,192,991	12,998	4,820
合計	163,536,000		59,750	

回答者合計/2737名



単位：円